



02

げつようび

わざわいを くいとめる しんでんを たてよう

ヘブル
10章 12節

しかし、キリストは、罪のために一つの永遠のいけにえをささげて後、神の右の座に着き、

多くの都市や国の偶像神殿はそれぞれの都市や国のランドマーク（landmark）となっています。つまり、長い間仕えてきた偶像の悪霊文化がランドマークになっているのです。世界中の人たちがひと目見ようと、多くのお金を出してその地を訪れます。このような偶像神殿が私たちの住む町にあると、どうなるのでしょうか。暗やみ文化によって、多くの人々が苦しむようになるでしょう。

神様が送ってくださったイエス様はキリストで、私たちのすべての問題を解決し、ともにおられます。私たちは、イエス・キリストの力によって、今まで続いてきた霊的問題と偶像文化と偶像神殿を変えることができます。私たちが福音を中心の礼拝をして、福音文化を作ればよいのです。さらに、福音が途切れることのない神殿を次世代に残すのです。神様に礼拝して仕える私たちの教会は、どうでしょうか。神様が時代と現場のわざわいをくい止める神殿、霊的免疫力を育てる霊的力を供給する神殿として私たちの教会を呼ばれたという事実を忘れないようにしましょう。そして、祈りつつわざわいをくい止める神殿をたてましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私たちの教会が時代と現場の偶像文化とわざわいをくい止めるキリストの弟子を育てる神殿になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

わざわいをくい止める教会はどんな姿なのか考えながら、今日のみことばの聖書箇所を3回書いて、心に刻みましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for writing names of people met during the service.

Blank lines for preparing materials for the service.



03

かようび

レムナントの ぶくを きょう

1 ペテロ 2章9節

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

私たちが着ている服は、その昔、身分を現わすものでした。今も、警察官や裁判官、医師を区別するための服がありますが、過去には王族と平民を区別する手段として使われました。

神様はイスラエルの民に、エジプトから出てカナンに行くため、まず荒野生活の中で幕屋を作ると言われました。そして、その幕屋を守る祭司をたて、重要な契約を伝えるように言われました。また、祭司の職分を通して、イエス様がキリストとして十字架の上ですべての問題を解決するために水と血を流されることをあらかじめ知らせてくださいました。このようないけにえをささげるための職についていた人がエポデをつけたのは、幕屋のともしびを消さないで、礼拝と祝福を伝える祝福を受けたということです。

レムナントは王である祭司の祝福を受けた者です。レムナントの足が踏む所で、王のように神様の働きが現れて、暗やみの勢力が崩れ、祭司のようにわざわいとろいをなくし、キリストの栄光を宣べ伝えるようになるでしょう。今日もレムナントの服を着て、現場で勝利しましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。レムナントの服を着て、王、預言者、祭司の祝福を伝えることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



色をぬろう

私たちは、この時代の王である祭司として呼ばれたレムナントです。聖書に登場する祭司の服は、どんな姿だったかを考えて祈りながらきれいに色をぬりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



04

レムナントの さんびを かいふくしよう

詩篇
150篇1節

ハレルヤ。神の聖所で、神をほめたたえよ。御力の大空で、神をほめたたえよ。

はじめにすべての人は、靈的祝 福を受けた存在として造られました。ところが、
私たちはサタンにその祝 福を奪われた状 態で生まれてきます。神様を離れて、わ
ざわいと地獄の背景、サタンの奴隷として生きていくしかなくなったのです。サタ
ンは神様を賛美する御使いの長でした。その影響で、音楽はこの世で最 も神様に
敵対する墮落した文化になりました。これが今も音楽を通して多くの人が神様を知
らなくなり、靈的問題の中で苦しんでいる理由です。しかし、賛美は音楽でなく、メ
ロディのある祈りになります。

レムナントのダビデは、幼い時期から賛美をしていました。その賛美によってだ
れも解決できなかったサウルの悪霊が離れました。羊飼いの生活をしていたときは
「私の羊飼いである神様」、王 宮生活では「私の王 である神様」、逃亡中で危機
に陥ったときは「私の避け所である神様」と賛美して、靈的力を受けました。

いまだんな状 況にいますか。まことの賛美を回復するなら、レムナントのダビ
デとともにおられた神様が私 とともにいて、導 いてくださるでしょう。



きょうのみことば



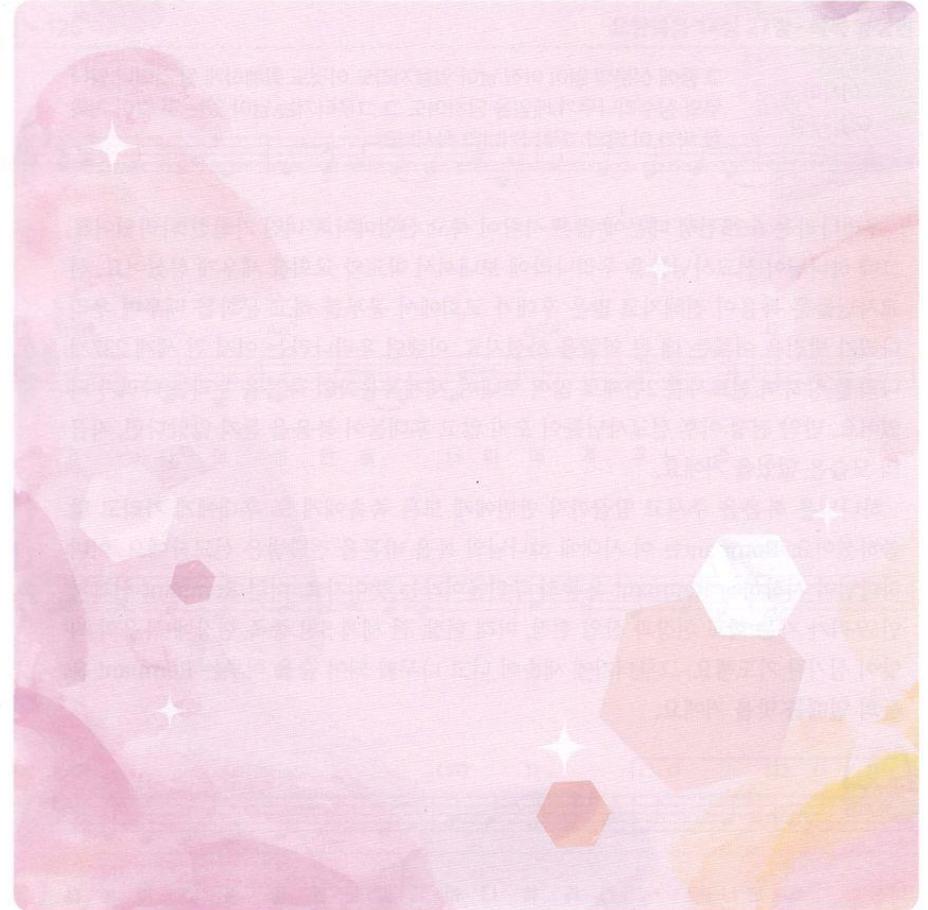
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私 がどこにいても、神様を見上げて賛美を
ささげることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前
によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

神様がともにおられることを心 に感じる賛美はありますか。その賛美を
聞いて、神様はいま私 とどのようにともにおられるのか、私 だけの
方法で思い描いて表現しましょう。



きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゆんび しりょう
準備する資料



05 レムナントうんどうの しゅじんこう

イザヤ 6章 13節

そこにはなほ、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレビンの木や樅の木が切り倒されるときのように。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえこそ、その切り株。

韓国は朝鮮戦争によって、多くの人々が死んで、産業の崩れた貧しい国でした。そのとき、神様が宣教師を韓国に送られ、学校と教会をたててくださいました。宣教師によって福音が伝えられ、多くの次世代が教会で勉強をして文化を学び、韓国発展のための大きな働きとなりました。いま韓国は全世界237か国に宣教師を送っています。世界で二番目に多くの宣教師を送る国として、世界福音化の祝福を味わう国になりました。もし停戦後に宣教師が来ることなく、次世代が福音を聞かなかったとすれば、今の姿はなかったでしょう。

神様は福音を与えてくださり、地の果てまで、すべての国の人々に、また、次世代のもとへ行きなさいと言われました。レムナントは、この時代に神様から福音のバトンを渡された宣教師です。すでに神様が始められたレムナント運動の主人公という意味です。レムナント宣教師である私たちが行く学校現場と産業現場、未来現場、全世界5千種族の現場に福音の種を蒔くように祈りましょう。切り株から新芽が出て、木になって、森を成し遂げるレムナント運動の実を味わうようになるでしょう。



さんびしょう

あなたがたに平安を残します

ヨハネ 14章27節
作曲：ヤン・ジョンミン

♩ = 125

G Am7 D GM7 E/G#

わたしは へいあん - のこします - わたしの

Am7 A/C# D G Am7

へいあん - あなたにあたえます - わたしがあなたに - あ

D GM7 E/G# Am7 C/D D

たえるのは - 世があたえるのと - ちがいます



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私たちに与えてくださった福音の種を現場に蒔くまことの宣教師の祝福をいつも心に抱いて祈りますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

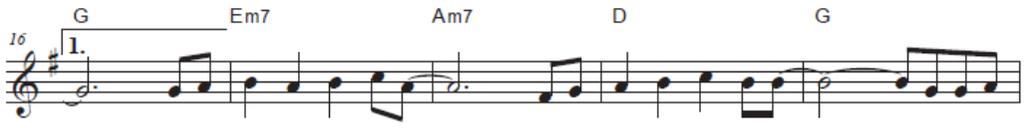


きょうのでんどう

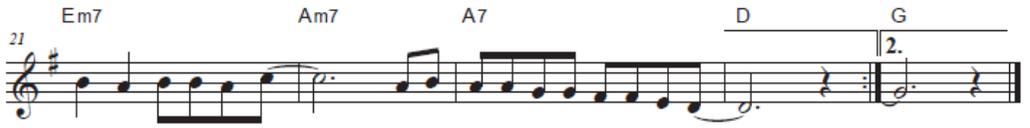
あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料

わたしの みぶん わたしの かし



— あなたは ころろ — さわがさないで — — おそれ



て は なりません — あなたと ともに います — —



きょうの でんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料

わたしたちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをあらかじめ備えてくださったのです。

エペソ
2章 10節

たとえ小さな怪我でも、治ることなくどんどん悪化して痛みが増してくると、日常生活に支障が生じます。神様を離れてサタンの子どもとして生きている人々のたましいについた傷は、治ることなくどんどんひどくなって、その痛みは増すばかりです。国を導く大統領や政治家、多くの人を助ける先生、多くの人に影響を与える資産家やタレントでも同じです。みんな、福音がないので本当の問題を知らず、苦しんで生きて、死んだあとは本物の地獄に行きます。イエス・キリストを通して神様に会うことができなければ、結局、地獄の背景で生きて地獄の権威の下で生涯を終えることになるのです。

神様はレムナントである私たちに福音をくださいました。サタンと地獄の背景、わざわざの中を生きて、霊的問題によってたましいについた傷の痛みを苦しむ人々を生かす、良い行ないのために、祝福の身分を与えられました。この身分は宝石のように、永遠に記憶される祝福です。このような私と私の価値に感謝して、私にある問題と葛藤は神様が許されたことですから、世の中を生かしてやす土台になるように祈りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。地獄の背景と地獄の権威の下にいる人を福音によって生かす身分を持った私の価値を正しく味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

07 まくやの しゅくふくが レムナントに

どうぶ

ヘブル 10章 16節

「それらの日の後、わたしが、彼らと結ぼうとしている契約は、これであると、主は言われる。わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いに書きつける。」またこう言われます。

神様は強大国エジプトの奴隷になって、偶像文化の中を生きていたイスラエルの民を、キリストの血を意味する子羊の血によって解放してくださいました。そして、神の子どもとして、福音の文化を刻印して、根をおろして、体質になるように、幕屋を作るように言われました。そして、幕屋中心の生活を送るようになると言われました。幕屋の中には契約の箱を置いて、契約をのがさないようにとされたのです。

パンの机を置いて、いのちの糧を供給してくださいました。香の壇を置いて、祈りの火が途切れないようにしてくださいました。燭台を置いて、いのちのともしびが消えることなく次世代に伝えられるようにしてくださいました。また、全焼のいけにえの祭壇を置いて、だれでもキリストの奥義を味わうことができるようにしてくださいました。洗盤を通して、霊肉ともに病気にならないように回復してくださいました。異邦人の庭と祈りの庭、子どもたちの庭を設置して、世界福音化、レムナント福音化の祝福を味わうようにしてくださいました。

この幕屋の祝福は今、私たちがいる所で続いています。私たちがささげる一度の礼拝を通して世の中と家庭、私を生かす、まことの礼拝の祝福に挑戦するレムナントになりましょう。

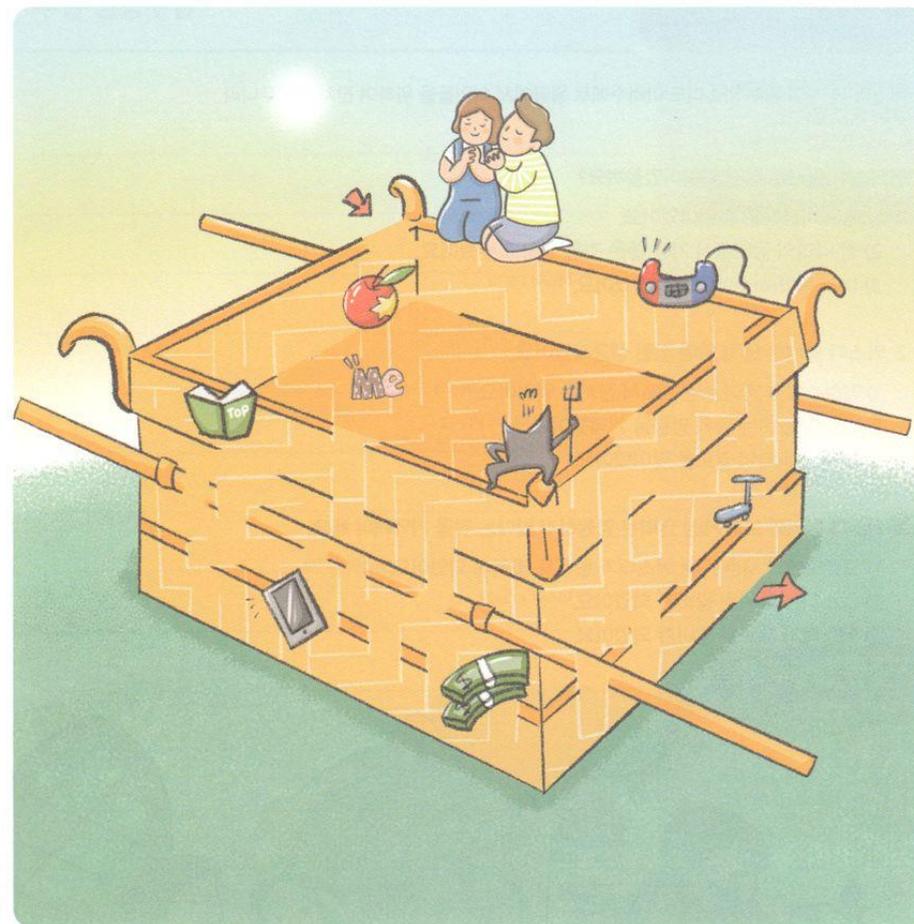
きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。行くすべてのところでささげる礼拝によって、幕屋の祝福を味わう最高の霊的サミットになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



日曜の礼拝時間にささげる祈りが私の普段の生活にも続くように祈りましょう。その祈りを入れた香の壇のめいろをゴールまで通り抜けて、幕屋の祝福を心に刻みましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料
